資料７

各介護サービスの見込量及び介護基盤整備計画（案）について

介護サービス基盤については、市内各圏域のサービスの充足状況やニーズ等を勘案しつつ、第８期介護保険事業計画の中での整備の必要性について検討します。

〇施設整備について

・介護支援専門員調査（参考資料 1）より、施設サービスについては、依然として介護老人福祉施設の入所ニーズが高い。

・各サービス稼働状況（参考資料 2）より、グループホームの待機者数は一定数いる。

・各サービス稼働状況より、通所系サービスの稼働率、小規模多機能型居宅介護の登録定員の状況にはまだ空きがある。

・介護サービス見込量自然推計（参考資料 3）より、今後各サービスの給付費及び利用回数は増加傾向にある。

■施設・居住サービス

→第 7 期計画に位置付けた介護老人福祉施設（90 床）、地域密着型介護老人福祉施設（29 床）、短期入所生活介護（10 床）、認知症対応型共同生活介護（1 ユニット 9 室）の整備が令和 3 年度に予定されているため、新たな整備は必要ないと考える。

■在宅サービス

→今後 3 年間の給付費、利用の伸びを考慮する必要はあるが、現在の稼働状況により、新たな整備は必要ないと考える。

〇各介護サービスの見込量については、「地域包括ケア見える化システム（厚生労働省Web サービス」により算出。

①人口推計、認定者数推計の登録

②施設整備床数の決定登録

③各介護サービスの推計（自然体推計）→　当課にて修正

④介護保険料の算定